

シンポジウム
I CARE-NET

医療的ケア「3号研修」をひろげ 充実した支援の輪を

2014年
5月24日(土)

時間 13:30~17:00
(開場13:00)

会場 ●神戸あすてっぷ KOBE
(神戸市男女共同参画センター)
セミナー室1・2(会場地図は裏面)

参加費 ●会員 1000円・非会員 1500円
※シンポ申込時に入会されると会員扱いの参加費となります。

私たちは、重い障害がある子どもたちや成人の多様性のあるいのち、
尊厳あるいのちを考え、快適な日常生活を支える気管切開、人工呼吸器、
胃ろうなどの日常生活をより快適に生きるために、「医療的ケア」研修や
全国シンポジウムなどを通して、前向きに支援してきました。

2012年4月から吸引・経管栄養等の一部法制化によって、介護福祉士
等の非医療職が一定の研修後、「医療的ケア」の一部が「業」として実施
できるようになりました。

障害児者を支援する場合、障害児者本人の病態等を十分に理解した
パーソナルな関係性で、日常生活を支えることが必須です。家族、非医療
職、医療職などの地域連携とともに、看護・介護ステーション、福祉施設
(入所や生活介護事業所等)、病院、診療所の連携も必要です。

いま、都道府県で特定研修(3号研修)づくりが進められていますが、
研修登録機関が不足し、支援中の希望研修者への実施すら不十分な地域が
あります。私たちは京都府の3号研修について支援してきましたが、全国
どの地域でも「医療的ケア」支援に対応できるように、研修申請のノウハウ
や講師派遣などで支援していきたいと考えています。

今回は厚生労働省の障害福祉課で、この研修体制づくりに
かかわってこられた高木憲司前専門官をお招きして、
経験交流と充実した支援の輪を各地に
ひろげていくためにシンポジウムを
行います。

3号研修を具体的にどう進めるか 各地の医療的ケア研修の現状と課題

- ①京都の3号研修と自立支援協議会の取り組み NPO法人医療的ケアネット理事 篠原文浩
- ②大阪で自ら(教師・保護者)立ち上げた3号研修 NPO法人 地域に広がれ一医療的ケア 乾 勝彦
- ③研修を受ける人に補助金 千葉市障害福祉課 石井和孝
- ④指定発言一研修の課題 兵庫・福岡など

◆報告を踏まえて討論

医療的ケア研修の 格差解消を求めて

3号研修立ち上げとこれからの課題

前厚生労働省 障害福祉専門官・和洋女子大学准教授 高木憲司
◆討論 コーディネーター：NPO法人医療的ケアネット理事長 杉本健郎

申し込みはFAXかMailで!

主催 ● NPO 法人医療的ケアネット
TEL.075-693-6604
FAX.075-693-6605
e-mail.mcnet-info@mcnet.or.jp

共催 ● 社会福祉法人 かがやき神戸・
神戸市北区地域自立支援協議会くらし部会
協賛 ● 兵庫県保険医協会・兵庫県小児科医会

※シンポジウム終了後、17時10分～[NPO法人医療的ケアネット2014年度総会]を
開催(17時40分終了予定)

交流会 講師・シンポジスト・参加者有志による交流会18:00~20:00=要予約